



平成 29 年度日本 ALS 協会
香川県支部総会・交流会

日時 平成 29 年 6 月 18 日 (日) 13:30~15:30

場所 高松医療センター 作業療法棟

日本 ALS 協会香川県支部

日 程

- 13:00 受付
- 13:30 香川県支部総会
- 14:15 休憩
- 14:30 交流会
(アトラクション)
- 15:30 終了

宣誓の言葉

私たちは、ALS患者・家族同士、手をつなぎ
一人ひとりが、自分らしく、暮らしていくために
共にALSと闘い、共に希望を、ひらいていきます。
一人でも多くの、理解者を増やすために
私たちの、生きぬく“熱”を、伝えていきます。

香川県支部総会次第

13：30 開会

- 1 あいさつ 支部長 岩本 豊
- 2 来賓祝辞 支部顧問 中村 明美 様

3 来賓紹介

4 議事

①平成 28 年度（11 月～3 月）事業報告及び決算報告

②平成 29 年度事業計画（案）及び予算計画（案）

③旅費規程（案）

5 支部役員紹介

6 宣誓の言葉

7 事務局より

- ・本部社員総会の情報伝達
- ・支部設立記念誌の寄稿依頼
- ・アンケート依頼（香大医学部）
- ・その他（研修会、きぼう、支部アンケート等）

議事①

平成 28 年度（11 月～3 月）事業報告

期 日	活 動	役 員 会	関 係 機 関
11/22 (火)			中讃 (ALS 患者・家族交流会)
12/ 5 (金)			東讃 (ALS 理解啓発講演)
12/18 (日)	第 3 回茶話会	まとめと課題	
1/16 (月)			香大医学部 (ALS 理解啓発講演)
1/26 (木)			香川県難病対策連絡協議会
3/ 5 (日)		H29 年間計画案	
3/10 (金)			香川県難病患者を支える集い

平成 28 年度（11 月～3 月）決算報告

1 収入

単位：円

費目	予算	決算	増減	備考
支部設立準備金残金	30,000	29,862	△138	日本 ALS 協会より (10 万円)
支部助成金	30,000	28,500	△1,500	会員一人 3000 円×19 人×0.5 (半年)
その他	10,000	140,000	130,000	お祝い、寄付金等
計	70,000	198,362	128,362	

2 支出

単位：円

費目	予算	決算	増減	備考
活動費	20,000	0	△20,000	
通信費	10,000	10,600	600	切手
研修費	10,000	0	△10,000	
旅費	10,000	66,630	56,630	役員旅費 2 人 (徳島:コミュニケーション支援者講座)
予備費	20,000	0	△20,000	
繰越金	0	121,132	121,132	
計	70,000	198,362	128,362	

平成 28 年度決算について監査の結果、その内容は適正かつ正確であったことを認めます。

平成 年 月 日

会計監査担当者氏名

印

議事②

H29 年度事業計画（案）

期日	活動	運営委員会	関係機関等
4/23 (日)		<ul style="list-style-type: none"> ・総会案、旅費規程案 ・記念誌案、研修計画案 ・茶話会担当者会 	
5/21 (日)		<ul style="list-style-type: none"> ・総会事前打合せ ・記念誌案 ・茶話会①検討 	
6/3 (土)	本部総会(東京)	<ul style="list-style-type: none"> ・香川県支部代議員参加 (代議員 岩本仁美) 	
6/18 (日)	支部総会・交流会 13:30～15:30		
7/16 (日)	茶話会① 14:00～15:00	<ul style="list-style-type: none"> ・茶話会②検討 ・記念誌の進捗状況 	
9/10 (日)	茶話会② 14:00～15:00	<ul style="list-style-type: none"> ・療養生活アンケート検討 ・茶話会③検討 ・記念誌編集経過 	
9/17 (日)			リハセンター研修会 (コミュニケーション支援者講習)
12/10 (日)	茶話会③ 14:00～15:00	<ul style="list-style-type: none"> ・講演会計画案 ・記念誌発行 ・茶話会④検討 ・本年度まとめと次年度計画① 	
2 未定	講演会 市原典子先生(高松医療センター診療部長)		
3/25 (日)	茶話会④ 14:00～15:00	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度計画② 	

平成 29 年度予算計画 (案)

1 収入

単位：円

費目	予算	前年度実績	増減	備考
前年度繰越金	121,132	29,862	91,270	
支部助成金	72,000	28,500	43,500	3,000 円×24 人
その他	30,000	140,000	△110,000	寄付金等
計	223,132	198,362	24,770	

2 支出

単位：円

費目	予算	前年度実績	増減	備考
活動費	100,000	0	100,000	記念誌、交流会、茶話会、消耗品等
通信費	50,000	10,600	39,400	切手、封筒、宅配等
研修費	30,000	0	30,000	講師謝金、会場費等
旅費	30,000	66,630	△36,630	役員交通費等
予備費	13,132	0	13,132	
計	223,132	77,230	145,902	

議事③

旅費規程 (案)

別添資料参照

H29 年度日本 ALS 協会香川県支部役員

※役員任期は 2 年 (香川県支部規約 9 条より)

支 部 長	岩本	豊 (患者)
副支部長	氏原	昭仁 (患者)
	田中	実 (家族)
事務局長	岩本	仁美 (家族)
会 計	国方	正昭・育子 (患者・家族)
運営委員	松島	慶三 (家族)
監 事	直井	友子 (遺族)
顧 問	峠	哲男 氏 (香川大学医学部看護学科健康科学教授)
	中村	明美 氏 (香川県看護協会会長)

交 流 会

14 : 30

アトラクション 津軽三味線 奏者 筒井 茂広 氏

【 メ モ 】



旅費規程（案）

日本 ALS 協会香川県支部

（目的）

第1条 この規程は、会務のために旅行する日本 ALS 協会香川県支部の役員等（運営委員、監事、顧問、支部長の命で参加する正会員、同行する介護者等）の旅費（交通費、宿泊費等）に関し、必要な事項を定めるものとする。

（旅費の支給）

第2条 県内における支部主催の主な全体活動（総会、交流会、研修会、茶話会等）、及び運営委員会については、原則として旅費の執行は行わない。

2 支部長が必要と認めた対外活動（関係機関との連絡会・交渉、患者宅及び病院への訪問相談、各地での啓発活動、関連団体が主催する研修会等への参加等）で、県内を公共交通機関（電車、バス、船）、又は自家用車で移動する必要がある場合は、それに要した実費を支給する。自家用車の場合は、[20 円/km×走行距離数、※高速料金（片道 40 km以上）] を支給する。

3 参加を必要とする会合等に役員等が介護タクシーを利用する場合は、事前に支部長の認可を受けることとする。その場合、10000 円を上限に介護タクシーに要した実費を支給する。（※高速料金を含む）

第3条 県外における日本 ALS 協会、他県支部、関連団体等が主催する総会、講演会、研修会等で、支部活動の充実に資すると支部長が判断した場合は参加を認める。

2 移動に公共交通機関（電車、バス、船、航空機）を利用した場合は、それに要した実費を支給する。ただし、交通費は、原則として一般に利用されている経済的な経路の交通機関による運賃とする。介護者の付添いが必要な場合は、介護者 1 人まで実費を支給する。自家用車を使用する場合は、[20 円/km×走行距離数、高速料金] を支給する。

3 参加を必要とする会合等に役員等が介護タクシーを利用する場合は、事前に支部長の認可を受けることとする。その場合、50000 円を上限に介護タクシーに要した実費を支給する。（※高速料金を含む）

4 宿泊が必要と支部長が認めた場合は、8000 円/泊を上限に宿泊料の実費を支給する。介護者の付添いが必要な場合は、介護者 1 人まで宿泊料を支給する。ただし、人工呼吸器装着者で介護者と同室の場合は、12000 円/泊を上限とする。

[参加が必要な会議]

・四国・近畿ブロック会議（支部予算より支出）

・本部社員（代議員）総会（本部予算より支出）

5 支部長が参加を認めた会合等で、参加費、資料代等が必要な場合は、その実費を支給する。

（支払い）

第4条 旅費の支払いは、原則として、清算払いとする。

2 県内旅費の支給を受ける者は、会務終了後、旅費受領書（様式1）に日時、会務名、交通手段等必要事項を記入し、有料駐車場や介護タクシー等を利用した場合は領収書を会計に提出する。会計は内容を確認し事務局長に報告した上、遅滞なく支払うこととする。

3 県外旅費の支給を受ける者は、会務終了後、旅費受領書（様式1）に日時、会務名、交通手段等必要事項を記入し、利用した公共交通機関（電車、バス、船、航空機）の運賃及び介護タクシー、参加費、資料代等の領収書を会計に提出する。会計は内容を確認し事務局長に報告した上で、遅滞なく支払うこととする。

（例外事項）

第5条 旅費支給はこの規程によるが、支部長が支部の予算範囲内での執行が難しいと認めた場合は、実費の範囲内で支給額を変更することができるものとする。

（外部講師等の旅費及び謝金）

第6条 講演会等で外部講師を依頼する場合は、公共交通運賃の実費、宿泊が必要な場合は10000円/泊を上限に宿泊料の実費を支払うこととする。

2 利用できる公共交通機関がない場合や、利用が著しく困難な会場等への移動にタクシーを使用した場合は、それに要した料金を支払う。介護者の付添いが必要な講師の場合は、第3条2、4の規定を参考とするが、この限りではない。

3 講演会の謝金は、講師の職種及び役職等にかかわらず、一律10000円/1時間程度とする。研修会等の謝金は、講師の職種及び役職等にかかわらず、5000円/2時間以下、10000円/3～4時間程度、15000円/5～6時間以上とする。

（報告等）

第7条 県内の研修会等及び県外の会合等に参加した者は、報告書（様式2）を提出する。ただし、複数名で参加した場合は、連名での報告でよいこととする。必要に応じて、その内容を総会や支部だより等で情報発信することとする。

附 則

1 この規程は、平成29年6月18日から施行する。

様式 2

支部長	事務局長	報告者

報告書

年 月 日提出

開催日	年 月 日	氏 名	
会務名			
内 容			
備 考			

※連名で報告する場合は、備考欄に連名者氏名を記入

※報告者、事務局長、支部長は押印、報告書は事務局長が保管する。

旅費受領書

氏名 〇〇 〇〇

月日	会務名・経路	交通手段	料金(円)	領収書番号	備考
			@ (合計)	受領印	会計印・事務局長印
○/○	高松医療センター連絡会				
"	一本木～瓦町	バス	380		
"	瓦町～高松医療センター	バス	450		
"	高松医療センター～瓦町	バス	450		
"	瓦町～一本木	バス	380		
▲/▲			@1660	印	印・印
○/○	難病患者を支える集い				
"	自宅～県庁	自家用車	600		20円×30km
"	県庁～自宅	自家用車	600		20円×30km
▲/▲			@1200	印	印・印
○/○	難病患者のコミュニケーション支援者養成講座				
"	自宅～鴨島健康センター (徳島県鴨島町)	介護タクシー	20000 2160	① ②	高松西～脇町 高速 2160円
"	鴨島健康センター～自宅 (徳島県鴨島町)	介護タクシー	20000 2160	③ ④	脇町～高松西 高速 2160円
"			500	⑤	資料代 500円
▲/▲			@44820	印	印・印
○/○	愛媛県支部交流会				
"	自宅～高松駅	自家用車	100		20円×5km
"	高松駅～松山駅	J R	3800	⑥	トク割往復 7600円
"	松山駅～高松駅	J R	3800		
"	高松駅～自宅	自家用車	100		20円×5km
"			1500	⑦	駐車料
▲/▲			@9300	印	印・印